

湯の丸山・烏帽子岳山行報告

【山行日】 2014年 6月 29(日) 晴れ時々曇り
【集 合】 岩舟町役場駐車場 AM 6:00
【費 用】 マイカー1台 : 3,000円
【メンバー】 CL:鈴木、石田、大西、島田、田村、渡辺
【コースタイム】岩舟町役場 P6:00＝地蔵峠 P8:00/8:20～リフト上ベンチ 8:40～ツツジ平 8:50～湯の丸山 9:30～北峰 9:45～湯の丸山 9:55/10:10～鞍部 10:40～烏帽子岳 11:40/12:20～鞍部 13:10～地蔵峠 13:50/14:00＝岩舟町役場 P16:30



29日の天気予報は長野県中部だけが晴れの予報。天気予報を信じて岩舟町役場を出発する。足利市を過ぎるまでは小雨がぱらついていましたが、群馬県に入ると雨は上がり西の空が心なしか明るく見える。上信越道に入ると青空になり、浅間山がクッキリと見えるようになった。



「今日は天気予報通り晴れるね。」と皆喜んでいましたが、八風山トンネルを出たらガスが掛かり、山が見えなくなる。小諸 IC で高速を降りて別府の交差点を右折し、地蔵峠が近づくと青空になり皆安心する。地蔵峠の駐車場はすでにたくさんの車が止まっていて、大勢の登山者が出発して行く。

我々もトイレを済ませストレッチを行い、後を追うように出発する。

スキー場のリフトの脇の登山道を登って湯の丸山へ向かう。リフト終点の先のベンチで休憩し、その先のツツジ平入口からツツジ平に入った。ここはレンゲツツジの群生地、国の天然記念物となっており60万本のレンゲツツジが咲き乱れる楽園だ。園地の中を、花を楽しみながら散策し、湯の丸山をバックに記念写真を撮りながら緩やかに登る。やがて鐘と標識がある湯の丸山への登り口に着く。ここからは本格的な登りとなり、樹林帯の中笹に覆われた登山道を行く。岩がゴロゴロする登りを過ぎたところで、北峰を踏むグループとまっすぐ烏帽子岳に向かうグループに分かれた。急な登りを頑張るとゆるやかに笹原を行くようになり、広い湯の丸山頂へ着いた。山頂北側の大きな岩陰にザックをデポし、北峰への道を辿り10分ほどで三角点のある北峰へ着いた。北峰は岩峰で眺望が良いが、北アルプス方面は雲が多く見る事が出来なかった。

南峰に戻るとザックの上にバームクーヘンが置いてあり、コーヒーを飲みながら美味しく戴き烏帽子岳へ向かう。烏帽子岳へは一度鞍部まで下ってから稜線に登り返す。道は大きく左に巻きながらジグザグと高度を稼いで行く。グンナイフウロやベニバナイチヤクソウ、レンゲツツジに彩られた登山道は疲れを感じさせない。稜線に出ると再び展墓が開け、ここからは快適な尾根歩きを楽しむことが出来る。登山道にはたくさんの花が見られ、ピンクとシロのコマクサ、ミヤ



マハンショウヅルなどの花が疲れを癒してくれた。



烏帽子岳の山頂は湯の丸山のように広くはないが、それだけに360度の大自然に包まれているように感じた。山頂で眺望を楽しみ、写真を撮って昼食タイムとする。今日の山ごはんは焼きそば。山頂からの眺望を楽しみながら食べるおにぎりや焼きそばは、格別に美味しかった。

下山は鞍部までは来た道に戻る。ゆっくりと下り、登りで気が付かなかった花に出会い「エ～こんな花気が付かなかったね～～」と皆で感動する。

鞍部からは分岐を直進し、地蔵峠へ直接向かう。途中ツツジ平への道を左に分けて、湯の丸キャンプ場を過ぎると林道となり、道なりに進むとほどなく地蔵峠に着いた。

途中道の駅「雷電くるみの里」へ寄ってお土産を買い、予定通り岩舟町役場へ着いた。